

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月30日

学校法人のびる学園
幼保連携型認定こども園
のびる幼稚園
園長 山田佳奈子

学校評価委員会 佐藤真吾 小野啓一 申尚英輔
山脇衣子 佐藤真樹 古瀬ゆりか

1. 本園の教育目標

「自分で遊びを見つけられる子」

遊びは、子どもの生活の全てです。自分で遊びを見つけられる事ができたときに、子どもは初めて自己の確立の第一歩を踏み出したこととなります。一人遊びでも集団遊びでも子どもが見つけた遊びを否定せず、認める事が大切だと考えます。

「他人を思いやる心」「自然を大切に作る心」「自分を大切に思う心」は、自分で遊びを見つけられる子になる大切な3つです。そしてのびる幼稚園が大切に思っている「博愛」の大切な表れだと考えます。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

＜今年度 学年目標＞

- 0歳児…一人ひとりの発達に応じた援助のもと、離乳の完了や歩行の完了を促し、身の回りのものへの興味・関心を広げる。
- 1歳児…一日の生活リズムを整えながら、食事・排泄・着脱など、身の回りのことを自分でしようとする
- 2歳児（満3歳児）…象徴機能や想像力を広げながら、集団活動に参加する。
- 3歳児…身近な仲間や自然等の環境と積極的にかかわり、意欲を持って活動する
- 4歳児…信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする
- 5歳児…集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる

＜今年度園内研修＞

遊びや生活の中で、自分から進んで学び、楽しいことを発見したことを伝え合い、力を合わせて活動できる ～今ある子どもの姿を大切に、保育を考える～

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教職員間のコミュニケーションの円滑と環境作り	A	新しく4人職員が仲間に加わり、新年度をスタートさせた。また、2人途中入職した。今年度は、諸事情にて、2名途中退職することがあったが、昨年度より職員の入替えは少なかった。 7月に園内でコロナウイルス感染症が流行し、多くの職員・園児が感染した。保護者に自粛をお願いし、少ない職員の中、保育・消毒等をこなした。職員間で協力し合いながら、保育を進めることができた。 今年度、県内で不適切な保育が事件となり、園内でも保育の見直しを行った。研修を全員で行う時間が取れないため、分割し研修を行った。また、静岡県のオンライン研修には、保護者の協力を得て、多くの職員が参加し園内研修を行うことができた。人権擁護のセルフチェックを行い、普段の保育の見直しを行った。研修・セルフチェックを行うことで、ど

			<p>のようなことが虐待につながるのか、意識するようになり、保育へ繋げるきっかけとなった。その中で、援助・指導方法の難しさを感じる職員もいる。</p>
2	<p>園内研修に取り組む 「遊びや生活の中で、自分から進んで学び、楽しいことを発見したことを伝え合い、力を合わせて活動できる ～今ある子どもの姿を大切に、保育を考える～」</p>	B	<p>日案を活用し、日々の子どもの姿から、PDCA サイクルを意識して行ってきた。 長期的な計画（年間・月案）と短期的な計画（週案・日案）から、目標を達成するための道筋を明確にするようにした。 また、運動会やオペレッタの会、クリスマス会など行事ごとに内容を話し合って早めに計画を立てることの重要性を痛感した。 全員で集まる行事の役割についての打ち合わせ時間がとれないため、行事分担表を作り、明確化した。 PDCA を意識的に取り入れることで、「子どもたちの立場に立って何が必要なのか」を考えるきっかけとなり、子どもの姿から保育を考える意識が芽生えた。</p>
3	<p>園独自のマニュアルを見直し、職員間で共有し統一する。</p>	B	<p>県内で車内に置き去りの事故があり、マニュアルを見直し、職員間で再確認を行った。また、交通事故に対して検証を行い、事故防止について話し合いを行った。発生時のマニュアルについても追加をし、添乗保育教諭についてもどう対処すればよいか明確化した。 水遊び・日常の安全について、マニュアルを見直した。職員が増えた分、共通理解が必要とされるので、掲示・職員会議の中で、再確認しながら、共有できるように努めた。 新型コロナウイルス感染症の情報を得て、その都度、マニュアルの見直しを行った。 ・マニュアルを個々に自己学習をし、個々の保育技術アップにもつなげていきたい。</p>
4	<p>会議方法の見直し</p>	A	<p>外部研修について、報告会の時間が取れないため、レポートを提出してもらうようにした。今後、保育教諭の保育にも役立てるよう、回覧をして、職員が共有し、次の保育へ活かしていくようにする。個々の資質を高めるものへと繋げていく。 17 時からの短い職員会議では、参加できない保育教諭への共通の理解に至るまで難しいものがあるため、業務日誌を利用し、各クラスの様子を明記し、他クラスへも状況が把握できるようにした。しかしながら、各クラス内での活動にこだわる様子が見られたので、来年度は自クラスに責任を持ちながら、0歳児から6歳児の子どもの成長を知り、協力しながら進められるようにしていきたい。</p>

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症に悩まされる1年となりました。毎日の園内消毒や換気等、心掛けてきましたが、園内で多くの園児・家族・職員が新型コロナウイルス感染症を発症し、7月19日から23日まで、登園の自粛を保護者をお願いした。7月23日の1学期終業式は動画配信で行い、9月の始業式を1週間早め8月26日に2学期始業式を行った。その後の行事において、新型コロナウイルス感染症が落ち着き始めたこともあり、少しずつ、行事を以前の方法へ戻すようにしていった。密にならないことも考慮しながら、運動会は、園全体での行事開催とした。のびる祭りものびる会役員を中心に開催することができた。</p> <p>11月、園バスの衝突事故が発生した。園児1名、保育教諭1名、運転手1名が乗車していた。バスは廃車になるような事故ではあったが、幸い大きな外傷に至らなかった。今回のバス事故において事故検証を行い、事故発生時の対処方法について、再確認、再検証した。</p> <p>他園でのバスの置き去りの事故もあり、園児の人数確認方法を再度検討した。パステルの点呼も利用し、保護者へも出欠の連絡登録を忘れないようお願いをした。時間になっても登園しない園児・出欠の未登録園児には電話連絡する等、子どもの人数把握の徹底に努めた。</p> <p>昨年度から導入したパステルに、職員も慣れてきたことで、指導案・保護者から連絡がスムーズになった。お便りもペーパーレス化することができたことで、紙の節約にもつながった。</p>

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教師間の連携	<p><職員間の明るい雰囲気作り> 教師間のコミュニケーションの向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに心地よく感じる挨拶。 ・一人ひとりが礼儀正しくしていく(社会人としてのマナー) ・ポジティブな言葉・表情(笑顔)・声のトーンを心掛ける。 ・ポジティブな言い回しへ変換、前向きな意見 ・「誰かがやってくれる」ではなく、「私もやりたい」と言える積極性 ・実践を行う人を尊重し、自分は何ができるか?と協力体制を持つ ・一緒に仕事をする事仲間のことを考えて、報連相でスムーズに仕事を進める ・自分の問題点や良い点を発見し、保育教諭としての資質向上に図る。 ・子どもの安全を守るため、職員間の声かけを心掛ける。 ・お互いを理解し、分かり合える職員間のつながりが必要。(お互いに言い合える環境づくり)
2	園内研修	<p>園内研修課題「子どもを中心に、人を育てる～お互いに育ち合う～」について、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を第一に考える。(笑顔のわすれない) ・保護者と一緒に子育てをしていく姿勢 ・人間関係を円滑にしチームで仕事をする。(指示の具体性・積極的な意見) ・子どもの気持ちに寄り添う保育(信じて待つ) ・努力をして保育のスキルアップ ・園の教育目標「自分で遊びを見つけられる子」を考え保育を進める。 ・感情的になりすぎず、冷静に子どもを対処する。 ・命を預かり仕事(責任感を持つ) ・0歳児～6歳児の子どもの成長を知る。

		一人一人が”育てる”を意識しコミュニケーションをとり、取り組む園全員の職員で一人一人の子ども達を見守る、のびる幼稚園本来の保育、チーム保育を見直す。
3	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> • 園児の人数把握 • 遊具点検（保育環境整備） • 保健連絡 • 子どもの人権を尊重（名前の呼び捨て・差別用語・プライドを傷つける・言葉の暴力等には気をつける。また、無意識に使っていないか、職員間で確認しあう。） • 守秘義務 • 子どもの特性を理解する • 子どもへの安全指導 • 保護者への啓発・協力依頼

6.学校関係者評価委員会の評価 全体評価 A

① 遊びについて（子ども達の遊び・在り方等について）

- 子ども達は色々工夫しながら遊んでいる様子が見られます。また、先生方がよく見ていらっしゃいます。素晴らしいことです。家庭での遊びは、外に出て遊ぶ姿はあまり見られません。友達と仲良く「遊び」をしたいですね。（家庭で）
- 普段なんとなく感じているところでは、大変よくオーガナイズされて、子どもの自主性を尊重したぬかりない指導をされていると思っています。
- 協力して遊びが進められるように頑張ってください。
- 日々子ども達から PDCA サイクルを取り入れて意識を持って保育をしていることはとても良いと思います。（PDC までできても、みんなが A まで意識して行う事はなかなか難しいことなのに素晴らしいと思います。）
- 家庭ではできない、砂遊びや色水遊び等、幼稚園で体験出来て良かったです。普段できない遊びに目を輝かせて帰宅する姿が何度もありました。雨の日は、ホールでこんなことしたよと、外で遊べない日も体を動かして遊ぶことができ有難いと感じました。

② 子ども達への取り扱い（職員の話し方・保育の進め方・保護者対応等について）

- 子ども達へ先生方はよく対応しています。色々な場面でよく面倒をみています。
- 先生方は、明るく挨拶して下さいます。
- 子どもより保護者対応が難しいですね。保護者会等でも苦心されていると思いますが、最近、親御さんについては、基本的な道徳心、礼儀（作法）等が欠如していると感じます。
- 話し合いが良くできています。
- コロナ後の体制作りを頑張って欲しい。
- 以前から安全面の意識が高いと思っていましたが、パステルを取り入れてより強化され良いと思います。
- 先生方が協力し合って保育している姿が見られ良かったです。
- 子ども達が理解できるように、わかりやすく話していることが参観日を見て知ることができました。保育の進め方も遅すぎず、早すぎず良かったと思います。
- コロナ禍で、行事が減り、園の様子を知ることが出来ず少し不安もあったが、今年度は、少しずつ行事等をやることができたので、園での様子を知ることが出来ました。

③ 行事について（進め方・開催方法等について）

- 行事内容は素晴らしかったです。オペレッタ・ミニコンサート、子ども達の成長過程がよく表れていました。歌が上手でした。
- クリスマス会・ミニコンサート等の行事からの判断ですが、成人の世界顔負けの素晴らしい出来だと思えます。なお、一層スタッフ一同の協力・やる気を期待してまいります。
- 新しい企画に期待しています。
- 行事分担表を作って明確化したことは、大事なことだと思います。その時の状況に合わせて行ったことは良かったです。
- コロナ禍で行事が縮小され、実際に見ることが出来ず残念なこともあったが、今年度は、様々な行事を体験でき、子どもの成長を感じた。行事の進め方、開催方法も良かったと思います。今後更に行事が出来ることを願っています。

④ その他ご意見がありましたら、お願い致します。

- 先生方もよくやっています。
- クリスマス会、ミニコンサート、オペレッタ等「のびるの華」として高く評価されていることに誇りを感じます。更にグローバル、人間の基礎作りとして理事長先生の歌唱力を活かしてオペラに力を入れてもらいたい。また、英語の歌をさらにさらに増やして、英語指導に力をいれ全国の幼稚園の模範となって欲しいです。
- 教育目標を職員がどれくらい理解できているのか？というお話がありましたが、全員での話し合いは難しいので、もうやっているかもしれませんが、学年ごと、0歳児としてはどう捉える・・・5歳児としてはどう捉える等明確にすることも良いと思います。